

公益社団法人日本地震学会平成26年度第8回理事会議事録

1. 日 時 平成27年3月9日(月) 15:00~17:25
2. 場 所 東京大学地震研究所1号館 事務会議室A
3. 理事数 15名
4. 出席者 理事13名, 監事2名, オブザーバー2名
 - ・理事: 今西和俊, 香川敬生, 加藤照之, 中川和之, 中島淳一, 日野亮太, 平松良浩, 古村孝志, 堀川晴央, 望月公廣, 山岡耕春, 山田卓司, 山野 誠
 - ・監事: 武村雅之, 鈴木善和
 - ・オブザーバー: 論文賞選考委員長, 若手学術奨励賞選考委員長
 - ・事務局: 中西のぶ江, 岡野美紀子

5. 審議事項

議長加藤照之は、本日の理事会の理事出席者が13名であり定足数を満たしているため、理事会が成立することを宣言した。続いて、以下の議案について、逐次審議に入った。

第1号議案 2014年度学会賞に関する件

2014年度論文賞推薦候補論文について、論文賞選考委員長より受賞候補論文3編の選考理由について説明が行われた。また、2014年度若手学術奨励賞推薦候補者について若手学術奨励賞選考委員長より受賞候補者3名の選考理由について説明が行われた。審議の結果、2014年度受賞対象を以下の通り決定した。

○ 論文賞

・ Migration process of very low-frequency events based on a chain-reaction model and its application to the detection of preseismic slip for megathrust earthquakes

著者: Ariyoshi, Keisuke, Toru Matsuzawa, Jean-Paul Ampuero, Ryoko Nakata, Takane Hori, Yoshiyuki Kaneda, Ryota Hino, and Akira Hasegawa

掲載誌: Earth, Planets and Space, 64, 693-702 (2012)

・ 2011年東北地方太平洋沖地震の発生後に活発化した霞ヶ浦南端直下の正断層型地震活動

著者: 今西和俊・武田直人・桑原保人

掲載誌: 地震第2輯, 第66巻, 3号, 47-66, 2013.

・ Dynamic tsunami generation due to sea-bottom deformation: Analytical representation based on linear potential theory

著者: Tatsuhiko Saito

掲載誌： Earth Planets and Space, 65, 1411-1423 (2013)

○ 若手学術奨励賞

- ・ 北 佐枝子

スラブ内および衝突帯の地震発生機構の研究

- ・ 辻 健

海域における地震波構造調査データの解析に基づくプレート境界断層の全体像の解明

- ・ 対馬弘晃

沖合津波観測による津波波源逆解析とそれを活用した津波即時予測手法に関する研究

なお、若手学術奨励賞選考委員会からの要望として、より多くの優秀な学会員が被推薦者となるような工夫を考えてほしいとの要望があったほか、論文賞選考委員会から選考対象誌である「地震」と「EPS」の掲載論文数に差があるため、委員会推薦数や選考作業の負担が公平でない等の意見が出された。

第2号議案 平成27年度事業計画案について

平成27年度事業計画案について議長より説明が行われた。審議の結果、原案を一部修正の上、全会一致で承認した。

第3号議案 平成27年度収支予算案について

平成27年度収支予算案について望月会計担当理事より説明が行われた。審議の結果、原案を一部確認の上、全会一致で承認した。

第4号議案 平成26年度事業報告案について

議長より、現段階までの平成26年度事業報告案が提示され、次回理事会において事業報告案を承認するため、各理事に担当箇所の報告案の提出を求め、継続審議とした。

第5号議案 二重投稿等の可能性のある論文について

平松理事より、二重投稿等の可能性のある論文について、著者からの報告及び投稿先の掲載誌の対応について資料に基づき説明が行われた。審議の結果、提示された「『地震に既発表の研究成果を他の学術雑誌に発表する場合のルールについて』の遵守のお願い」を一部修正のうえ、今回問題となった著者らの了解も得た上でニュースレターおよびホームページにおいて、会員への経過報告及び適切な引用の注意喚起を行うこととした。

第6号議案 モノグラフの刊行について

議長より、モノグラフ「日本の原子力発電と地球科学」の刊行について編集経緯が説明

された。意見論文集であることを前提に、刊行に向けて構成及び前文を中心に確認した。前文について挙げた意見について山岡副会長（当該モノグラフ対応）から編集委員会に修正依頼及び確認箇所を伝達し、対応してもらうことを条件に公開することが承認された。

第7号議案 夏の学校担当理事について

議長より企画補助から学会の直轄事業となった地震学夏の学校について担当理事を大会・企画担当である中島理事に併任いただきたい旨が諮られ、全会一致で承認された。また中島理事より来年度の夏の学校についての企画の進捗状況が報告され、当面はWGを数名で構成し、事業の立ち上げをしていきたいとの説明があった。その他、議長より、来年度の若手育成事業の助成金の金額について、海外渡航旅費助成金との調整もあるため、確認が必要であるとの意見が出された。

第8号議案 規則改正（役員代議員選挙実施細則、通常代議員選挙実施細則）について

議長より雑誌「地震」の刊行体制の変更に伴い、代議員選挙の手続きに関して規則の変更が必要であることが説明され、役員代議員選挙実施細則および通常代議員選挙実施細則の改正案が提示された。役員代議員選挙実施細則は全会一致で承認し、通常代議員選挙実施細則については一部修正のうえ、承認することとした。

第9号議案 倫理委員会の委員について

議長より倫理委員会規則第3条4項に基づき、来年度の倫理委員会の委員委嘱について4名の委員候補者が提示され、原案通り承認された。

第10号議案 事務局職員給与について

議長より給与規定第5条に基づき、来年度の職員の俸給について俸給月額表に基づき説明が行われ、原案通り各職員の俸給月額について1号俸定期昇給することとした。

第11号議案 外部監事の役員報酬について

議長より役員の報酬・退職金に関する規程第3条2項に基づき、平成27年度通常社員総会から平成28年度通常社員総会までの間の役員報酬について審議が行われ、原案通り月額4万円の報酬とすることを決議し、平成27年度通常社員総会に付議することとした。また、総会承認後の契約案についても確認が行われた。

第12号議案 後援依頼について

以下4件の資料が回覧され、後援・協賛名義の使用を許可した。

後援：第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム

第2回「震災対策技術展」大阪

防犯防災総合展 in KANSAI 2015

協賛：地学オリンピック（2016年国際地学オリンピック）

第13号議案 入会申請者の承認について

議長から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、賛助会員に申し込みのあった1団体の入会を承認した。

6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 正会員19名（内、学生4名）の退会届が提出された。
2. 望月理事（会計担当）より、業務執行報告が行われた。2月までの予算執行状況について資料が提示され、予算の執行額が少ない項目について説明が行われた。
3. 今西常務理事より、内田理事（広報担当）からの代理報告として、広報紙「なみふる」の印刷請負契約についてレタープレス株式会社と3年間の複数年契約することが報告された。
4. 議長より、加藤（愛）理事（災害調査担当）から提出された資料に基づき、第20回日本集団災害医学会総会において地震学会より講師として推薦した佐竹健治会員（東京大学地震研究所）が講演を行い、同会より感謝状が贈られたことが報告された。
5. 古村理事（連絡会議担当）より、業務執行報告が行われた。1月19日に開催された第3回地震学を社会に伝える連絡会議議事録案が提示され、来年度の各委員会における活動計画、Web改修の進捗状況について、メディアで取り上げられている「地震予知情報」への対応についての審議内容が報告された。
6. 日野理事（表彰担当）より、業務執行報告が行われた。「論文賞」「若手学術奨励賞」に関するレビュー報告（案）が提示され、既存の表彰制度についての検討を行っていることが報告された。レビュー報告（案）に関しては、レビュー内の図表について慎重を期し、ニュースレターを通して会員へ公開することが確認された。
7. 中川理事（普及行事担当）より、業務執行報告が行われた。平成28年度からの地震火山こどもサマースクールの開催地公募に関して4件の応募があったこと、今後のサ

マースクールに関する後援申請等の事務手続きは幹事学会である地震学会が行うこととしたいとの提案があり、了承された。

ジオパーク関連では、日本ジオパーク委員会の事務局所在について報告が行われた。社会活動基金の活動について、東北地方でのガイド講習を今年度に引き続き検討しているとの報告があり、企画が出来た段階で理事会に諮る予定であるとの報告があった。

8. 平松理事（地震編集担当）より、業務執行報告が行われた。地震68巻4号は3月に2編の論文を掲載し、刊行予定であることが報告された。
9. 山野理事（学校教育担当）より、業務執行報告が行われた。来年度の教員免許状更新講習の申請状況について現在まで8講習が認可を受けており、引き続き4講習を申請中であることが報告された。
10. 山田理事（学会情報誌編集担当）より、業務執行報告が行われた。過去のニューズレターVol.1, No.1～Vol.13, No.1についての電子化について作業の進捗状況が報告された。
11. 香川理事より、1月24日に開催された阪神淡路大震災20年シンポジウムについて当日の資料を配布の上、報告が行われた。また、シンポジウムに出席した加藤会長からも大変有意義なシンポジウムであったことがあわせて報告され、来年度も同様の企画を関連学会と検討したいとの意見があった。
12. 議長より、連合大会のユニオンセッションU-05「Future Earth - 持続可能な地球へ向けた統合的研究」への招待講演者の推薦について、佐竹健治会員を推薦したことが報告された。
13. 議長より、地震調査研究推進本部20年の資料集の執筆依頼について、理事メーリングリストで確認した原稿を投稿したことが報告された。
14. 議長より、「防災読本」出版委員会からの「防災読本」執筆依頼について、「防災と国際貢献」に関する執筆者として、井上 公会員（(独)防災科学技術研究所）を推薦したことが報告された。
15. 議長より、第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム組織委員会の顧問就任の依頼について、その就任を快諾したことが報告された。

平成 27 年 3 月 9 日

公益社団法人日本地震学会平成 26 年度第 8 回理事会